

AD8551R 天びん、はかりの適合表

	計量器とAD8551Rの接続に必要なもの		Modbus RTU													コマンドモード ※1	便利な機能	
	計量器の 出力オプション	計量器～AD8551R間の 接続に必要なケーブル	ホストから読み取りが可能なデータ					ホストから操作が可能な動作									計量器からの 電源供給	オートパワーオン 機能※2
			計量値	状態情報	応答速度	キャリブレーション の状態	キャリブレーション 分銅値	リゼロ	ゼロ	風袋引き	内蔵分銅による キャリブレーション	お手持ちの分銅による キャリブレーション	表示桁の 変更	応答速度の 変更	単位の 変更			
AD4212C	不要	計量器に付属のケーブル	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○※3	○	○
AD4212D	表示器用コネクタ	計量器に付属のケーブル	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○
	PC/PLC用コネクタ	AX-K04472-1000	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	×	○
AD4212A/B	不要	AX-K01710-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○
GX-A	不要	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
GF-A	不要	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○
FZi, HR-AZ	不要	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○
FXi, HR-A	不要	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○
GX, GX-K, GP	不要	AX-K01710-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○
GF, GF-K, GP	不要	AX-K01710-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○
BM, GH	不要	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○
HR-i	不要	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○
GR	不要	AX-K01710-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○
HR	HR-03	AX-K01710-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○
FC-i	不要	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
HC-i	HC-03i-JA	AX-K01786-200	○	△※4	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×
Eki, Ewi	不要	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
EJ, EJ-B	EJ-03JA	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
EK-L	不要	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	△※5	×
HV-CWP	HVW-03CWPJA	AX-K03285-320	○	△※4	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○
HV-C, HV-CP, HW-C, HW-CP	HVW-03CJA	AX-K02466-200	○	△※4	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○
HV-G, HW-G, HW-WP	不要	AX-K01786-200	○	△※4	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×
FG	FG-23JA/FG-24JA	AX-K01786-200	○	△※4	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×
FS-i	FS-03i-JA	AX-K03285-320	○	△※4	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×
SC/SE	SCE-03JA	AX-K03285-320	○	△※4	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
SW	SW-03-JA	AX-K03285-320	○	△※4	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×

※1. 計量器から一度に大量のデータを転送(GLP出力、データメモリの一括出力等)する場合、データに抜けが出る場合があります。
 ※2. 計量器にオートパワーオン機能またはオートスタート機能が無い場合は、電源投入後に各計量器をキー操作にて表示ONにする必要が有ります。
 ※3. AD4212Cをコマンドモードで使用する場合、事前に内部設定の変更でキーモードにする必要が有ります。また、AD4212Cから出力される“@”で始まる制御文字は、AD8551RからRS-485側には出力されません。
 ※4. 一部機能(キャリブレーションエラーフラグ)が使用できません。
 ※5. 計量器にアダプタを接続して使用している時のみ、計量器からの電源供給が可能になります。